

# 第107期 中間報告書

平成31年4月1日～令和元年9月30日



## 株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたびの台風19号により被災された皆様に対し、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を衷心よりお祈り申し上げます。

当社第107期第2四半期連結累計期間（平成31年4月1日から令和元年9月30日まで）における事業の概況をとりまとめましたので、ご報告申し上げます。

令和元年12月



代表取締役社長

亀井文行

### コーポレート・スローガン

くらしの中に未来をひらく

### 企業理念

当社は地域社会に密着し、人々の生活に役立つ総合商社として活動発展することをめざす。

# 事業の概況

## 企業集団の事業の経過及び成果

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、景気回復の減速基調が続いており、米国の保護主義的な通商政策の動向、中国経済の減速、金融資本市場の変動の影響などにより不透明感が高まっております。

国内経済は、雇用・所得環境の改善が持続したものの、米中貿易摩擦の影響などにより輸出を中心に弱さが続くなど、景気の減速懸念が強まっております。

エネルギー業界におきましては、原油価格の先行きが不透明な状況のなか、国内石油製品の構造的な需要減少が続いております。また、電力や都市ガスの小売全面自由化により、従来の垣根を越えた異業種間の顧客獲得競争が一段と激化しております。

このような環境のもと、当社グループは、お客様の多様なニーズに的確にお応えするため、新商材・新事業の開発に積極的に取り組むとともに、各種商材の複合営業を強力に推進しました。

また、グループの総合力向上と経営基盤を強化し将来にわたる持続的な成長を図るため、新規顧客獲得を推進するとともにM&Aによる事業領域の拡大に積極的に取り組みました。さらに、環境の変化に対応すべく、組織、財務、物流などの改革を推進し経営の効率化に努めました。

以上の結果、売上高は原油価格下落に伴う石油製品価格の低下などにより2,119億7百万円（前年同期比2.3%減）、営業利益は自動車関連事業における販売台数の伸長や、ファーマシー事業における処方箋枚数の増加、海外・貿易事業の伸長などにより38億75百万円（前年同期比30.4%増）、経常利益は44億37百万円（前年同期比14.7%増）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に計上した特別利益がなくなったことなどにより24億95百万円（前年同期比2.1%増）となりました。

なお、第107期の中間配当金につきましては、当初の予定どおり当社普通株式1株につき15円とさせていただきます。

(単位：百万円)

	第2四半期 連結売上高	第2四半期 連結営業利益
第107期	211,907	3,875
第106期	216,840	2,972
第105期	197,613	3,393

# 事業の概況

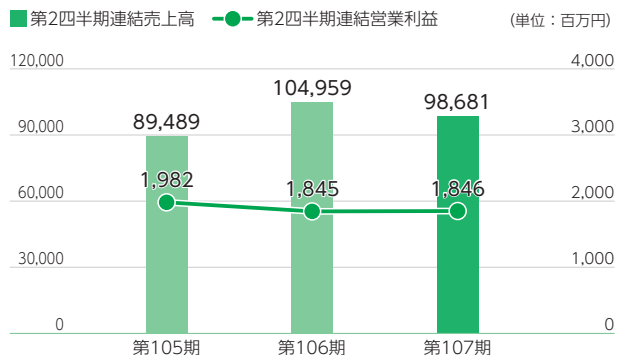
## エネルギー事業



当事業部門における石油関係につきましては、石油製品需要の減少や元売各社の再編による影響など厳しい販売環境のなか、新規・深耕開拓に努めました。また、化学品、環境商材などの提案営業や各種商材の複合営業を強力に推進しました。

ガソリンスタンド関係につきましては、お客様のニーズにお応えするため、タイヤ、車検及びコーティングなどトータルサービスの充実を図るとともに、店舗網の拡充やリニューアルを推進し競争力の強化に努めました。

LPガス関係につきましては、電気とLPガスを組み合わせた料金プランの提供などによる新規顧客獲得やM&Aによる商権獲得を推進するとともに、ガス空調機（GHP）、家庭用燃料電池（エネファーム）、ハイブリッド給湯器などの環境商材の拡販によりLPガスの需要拡大に取り組みました。

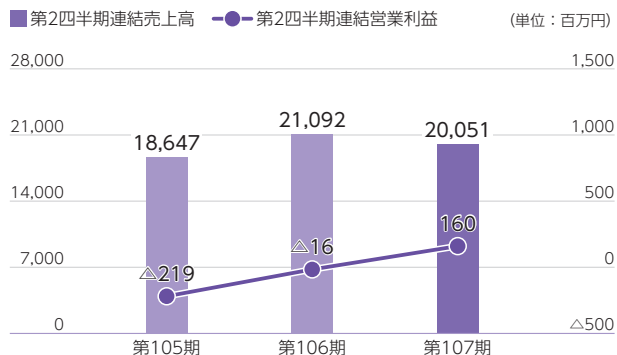


## 食料事業



当事業部門における食品関係につきましては、農産品は、新規・深耕開拓を推進したものの、原料米などの販売数量が減少し低調に推移しました。畜産品は、外食チェーン店向け加工製品の拡充と提案営業の強化などにより順調に推移しました。食品原材料は、ヨーロッパの高級洋菓子原材料の拡販に努めました。

酒類関係につきましては、地酒などの差別化商品の販売強化や輸入ワインの取扱商品拡充による販路拡大に努めたものの厳しい状況となりました。

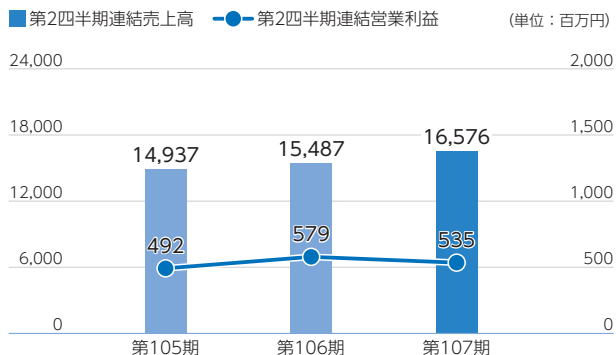


## 住宅関連事業



当事業部門におけるハウジング関係につきましては、ハウスメーカー及び工務店への住宅設備機器の提案営業や、メーカーとの合同展示販売会を開催し顧客獲得に努めたことにより堅調に推移しました。

建設資材関係につきましては、鉄骨工事や鋼材などの基礎資材が受注強化により伸長したものの、メガソーラー架台の完成工事高が減少したことなどにより、やや厳しい状況となりました。



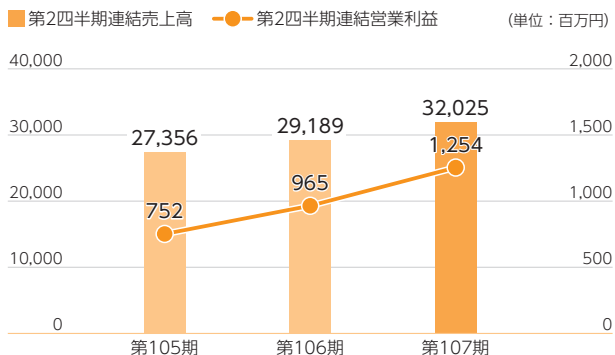
## 自動車関連事業



当事業部門における国産車販売につきましては、店舗のリニューアルを推進するとともに、法人営業の強化や大型展示販売会の開催などにより販売台数が伸長し好調に推移しました。

輸入車販売につきましては、新型車の拡販に努めたほか、店舗網の見直しによる販管費の削減効果などにより堅調に推移しました。

レンタカー関係につきましては、顧客ニーズの高い車種の充実を図るとともに、法人客の新規・深耕開拓や店舗網の拡充などにより好調に推移しました。



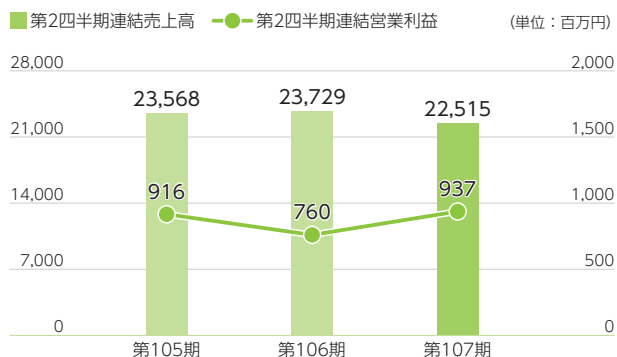
# 事業の概況

## 海外・貿易事業

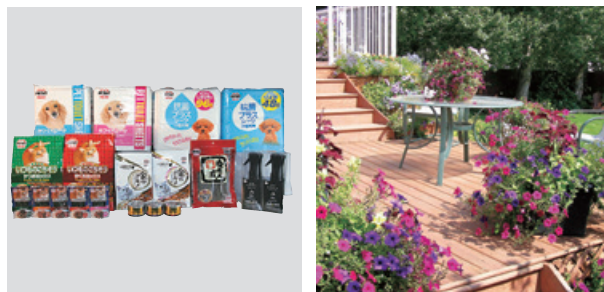


当事業部門における海外事業関係につきましては、米国国内で展開する日系スーパーマーケットの生鮮品・中食コーナーでの品揃えの充実や日本食材の販売促進などにより堅調に推移しました。

貿易事業関係につきましては、米国向け日本食材やアジア向けベアリングなどの輸出が伸長したものの、ロシア産水産物の輸入が減少したことなどにより、やや厳しい状況となりました。

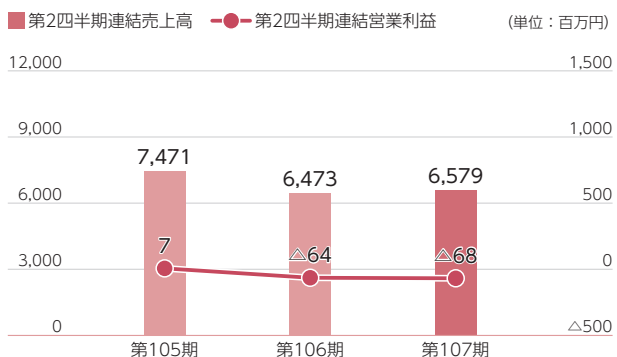


## ペット関連事業



当事業部門におけるペットフード・用品関係につきましては、自社ブランド商品の開発強化とホームセンターなどへの販路拡大に努めましたが、販売チャネルの多様化による販売競争の激化などにより、やや厳しい状況となりました。

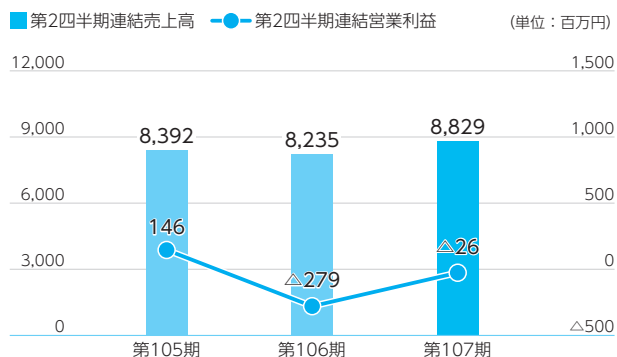
園芸用品関係につきましては、自社ブランド除草剤・肥料の拡販や新規・深耕開拓を推進したことにより堅調に推移しました。



## ファーマシー事業



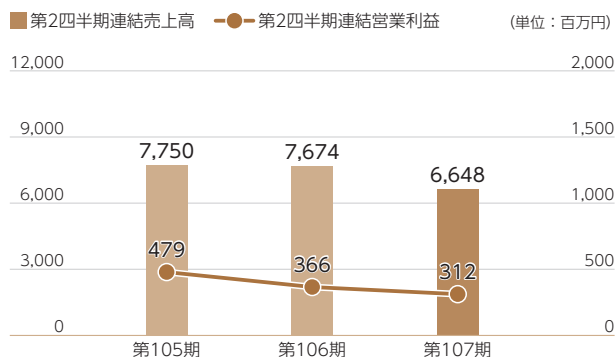
当事業部門につきましては、新規出店による店舗網の拡充効果や、地域の皆様から選ばれる「かかりつけ薬剤師・薬局」への取り組みなどにより取り扱い処方箋枚数が伸長しました。一方で出店に伴い販管費が増加したことなどにより、やや厳しい状況となりました。



## その他の事業



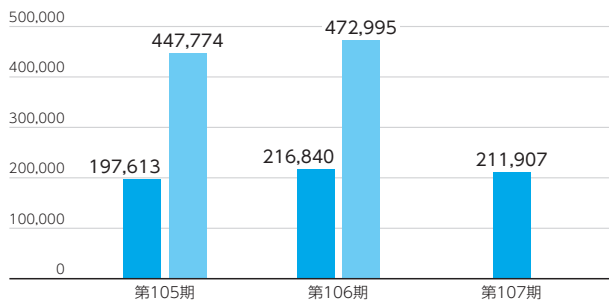
その他の事業につきましては、オフィス機器販売、リース業、運送業及び保険代理店業などを展開しており、新規・深耕開拓に努めました。



# 連結業績の推移

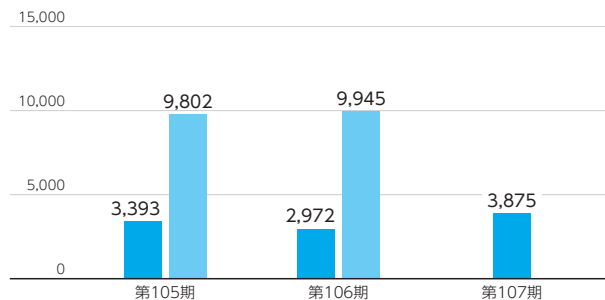
## 売上高

(単位：百万円) ■ 第2四半期 ■ 通期



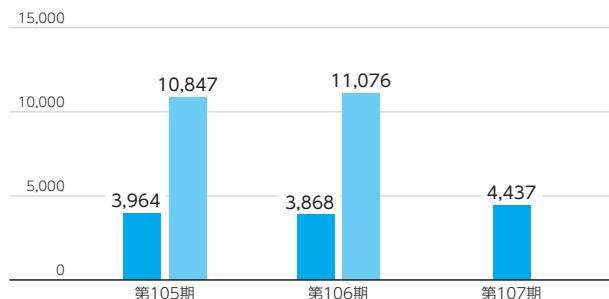
## 営業利益

(単位：百万円) ■ 第2四半期 ■ 通期



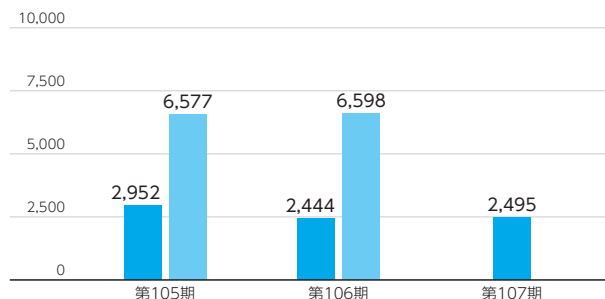
## 経常利益

(単位：百万円) ■ 第2四半期 ■ 通期



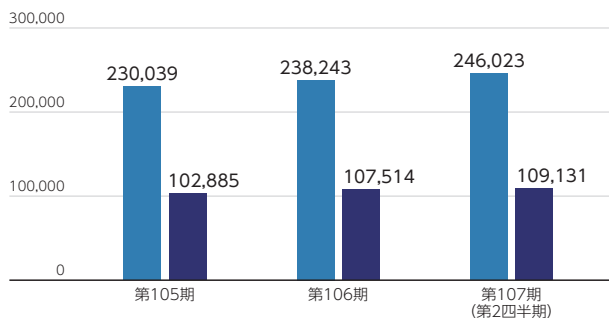
## 親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益

(単位：百万円) ■ 第2四半期 ■ 通期



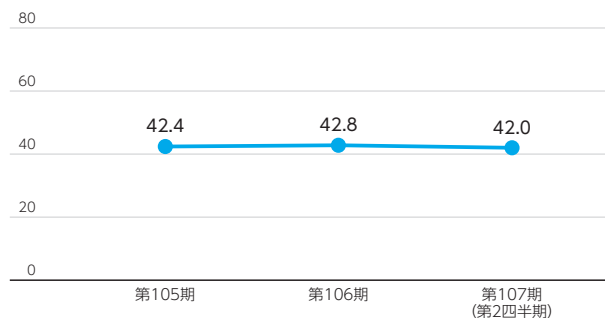
## 総資産・純資産

(単位：百万円) ■ 総資産 ■ 純資産



## 自己資本比率

(単位：%)



# 連結財務諸表

## ■ 四半期連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期末	前 期 末
	令和元年9月30日現在	平成31年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	147,296	141,968
固定資産	98,726	96,275
有形固定資産	70,960	68,054
無形固定資産	4,310	4,643
投資その他の資産	23,456	23,577
<b>資産合計</b>	<b>246,023</b>	<b>238,243</b>
(負債の部)		
流動負債	110,068	105,681
固定負債	26,823	25,047
<b>負債合計</b>	<b>136,892</b>	<b>130,728</b>
(純資産の部)		
株主資本	100,465	98,465
資本金	8,132	8,132
資本剰余金	7,248	7,248
利益剰余金	89,311	87,311
自己株式	△4,227	△4,227
その他の包括利益累計額	2,889	3,418
非支配株主持分	5,776	5,630
<b>純資産合計</b>	<b>109,131</b>	<b>107,514</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>246,023</b>	<b>238,243</b>

## ■ 四半期連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期	前第2四半期
	平成31年4月1日から 令和元年9月30日まで	平成30年4月1日から 平成30年9月30日まで
売上高	211,907	216,840
売上原価	178,074	184,438
売上総利益	33,832	32,402
割賦販売未実現利益戻入額	4,323	3,921
割賦販売未実現利益繰入額	4,505	4,019
差引売上総利益	33,650	32,305
販売費及び一般管理費	29,774	29,332
営業利益	3,875	2,972
営業外収益	956	1,263
営業外費用	394	366
経常利益	4,437	3,868
特別利益	14	231
特別損失	79	27
税金等調整前四半期純利益	4,372	4,072
法人税等	1,683	1,474
四半期純利益	2,688	2,598
非支配株主に帰属する四半期純利益	193	154
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,495	2,444

## ■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期	前第2四半期
	平成31年4月1日から 令和元年9月30日まで	平成30年4月1日から 平成30年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,887	9,450
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,099	△2,974
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,404	△3,315
現金及び現金同等物に係る換算差額	△210	△182
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,982	2,978
現金及び現金同等物の期首残高	32,914	27,855
現金及び現金同等物の四半期末残高	34,897	30,929

# 会社情報 (令和元年9月30日現在)

## 会社の概要

商号	カメイ株式会社
英文名称	KAMEI CORPORATION
本社所在地	仙台市青葉区国分町三丁目1番18号
設立	昭和7年12月29日
資本金	81億32百万円
連結対象会社数	連結子会社 39社 持分法適用会社 5社
売上高	(平成31年3月期) 連結 4,729億95百万円 個別 3,099億64百万円
従業員数	(平成31年3月末) 連結 5,008名 個別 1,946名
カメイグループ	国内57社、海外法人16社

## 役員

代表取締役社長	亀井文行
専務取締役	亀井淳一
専務取締役	高橋啓之
常務取締役	安部仁市
常務取締役	高橋清光
常務取締役	佐藤淳一
取締役	遠藤良一
取締役	亀井昭男
取締役	鷺足直樹
取締役	菊地信寛
取締役	佐藤清悦
社外取締役	尾町雅文
社外取締役	三井精一
常勤監査役	菅原正明
社外監査役	後藤忠雄
社外監査役	佐藤富士夫

## 株式の状況

発行可能株式総数	87,281,000株
発行済株式の総数	37,591,969株
株主数	2,896名

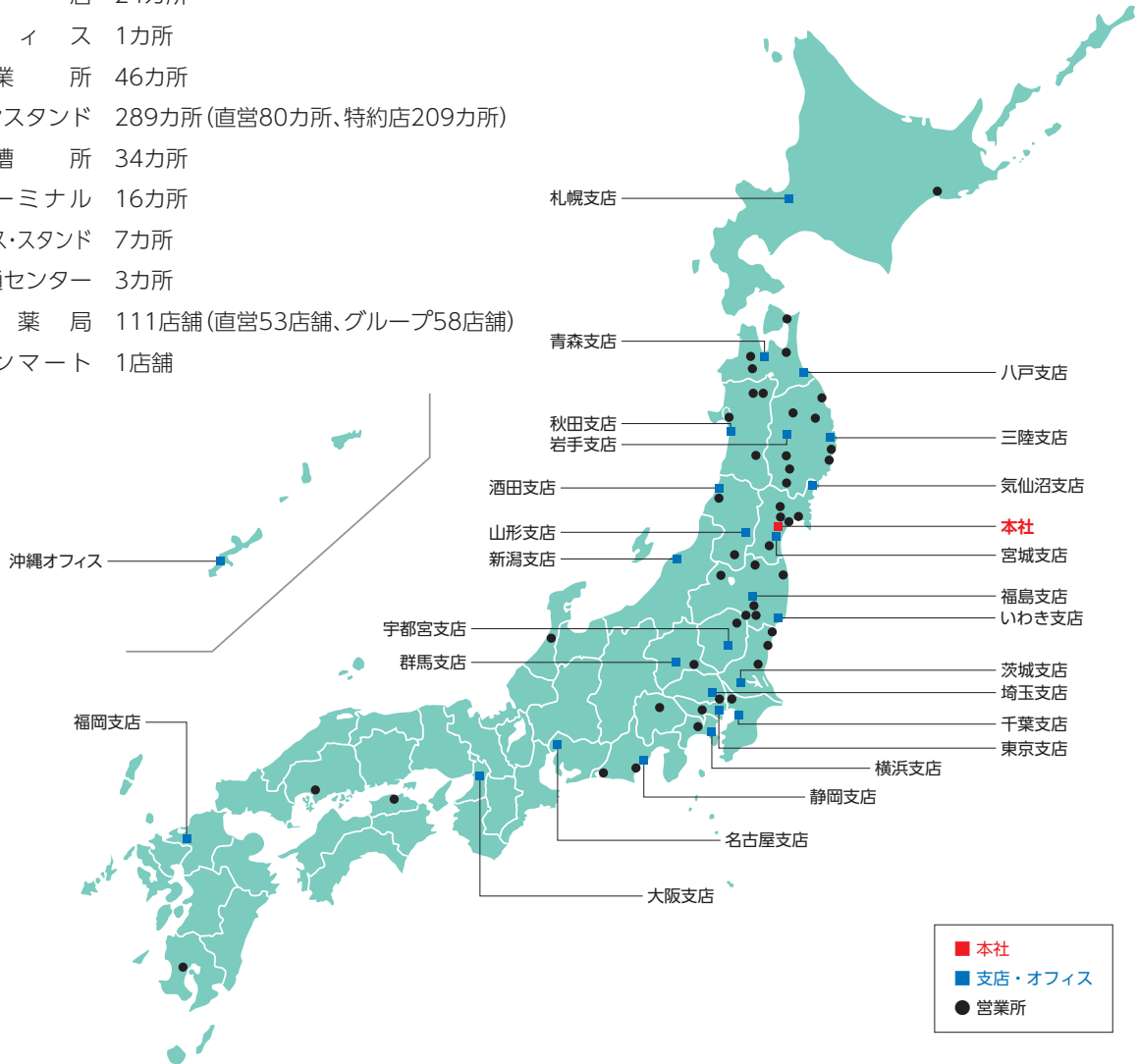
## 大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
有限会社亀井興産	3,000	8.93
亀井文行	2,506	7.46
カメイ不動産株式会社	2,443	7.27
BBH FOR FIDELITY PURITAN TR : FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND	2,100	6.25
公益財団法人亀井記念財団	1,650	4.91
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,127	3.35
亀井昭伍	1,014	3.02
有限会社グリーン・ウッド	1,000	2.98
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	767	2.28
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	761	2.27

- (注) 1. 当社は自己株式3,991,153株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## ■ 国内ネットワーク

支店	24カ所
オフィス	1カ所
営業所	46カ所
ガソリンスタンド	289カ所 (直営80カ所、特約店209カ所)
油槽所	34カ所
ガスターミナル	16カ所
オートガス・スタンド	7カ所
食料流通センター	3カ所
調剤薬局	111店舗 (直営53店舗、グループ58店舗)
グリーンマート	1店舗



# グループ紹介

## エネルギー事業

東北ガス株式会社  
 栃木液化ガス株式会社  
 株式会社パシフィック  
 株式会社センナンエネルギー  
 株式会社新白河エルピーガス供給センター  
 さいとうガス株式会社  
 最上ガス株式会社

## 食料事業

株式会社樋口米穀  
 株式会社池光エンタープライズ  
 ウイングエース株式会社  
 株式会社ヴィントナース  
 アグリ株式会社  
 サンエイト貿易株式会社  
 株式会社コダマ  
 株式会社アンジェリーナ  
 シーズンダイニング株式会社

## ペット関連事業

株式会社オーシマ小野商事  
 ペットアイ株式会社  
 トムソンコーポレーション株式会社

## 住宅関連事業

カメイエンジニアリング株式会社

## ファーマシー事業

株式会社遠藤薬局  
 株式会社まろん  
 株式会社水戸薬局  
 株式会社アイム  
 エムシーエス株式会社  
 株式会社エイエム・ファーマシー  
 株式会社オアシーズ  
 株式会社板東薬品  
 M2メディカル株式会社

## その他の事業

カメイ物流サービス株式会社  
 富士オイルサービス株式会社  
 能代第一急便株式会社  
 塩釜石油基地防災株式会社  
 カメイ商事株式会社  
 ミツモト商事株式会社  
 パーソルテンパスタッフカメイ株式会社  
 株式会社フィットネスプロモーション  
 株式会社クロノスメディカルデバイス  
 株式会社ネクスト仙台  
 株式会社一・四・一  
 石巻漁港石油配送協同組合  
 株式会社宮城テレビ放送  
 株式会社ミヤギテレビサービス

## 自動車関連事業

仙台トヨペット株式会社  
 山形トヨペット株式会社  
 カメイオート株式会社  
 カメイオート北海道株式会社  
 オリックスレンタカー・カメイ株式会社  
 株式会社トヨタレンタリース仙台  
 仙山テクノクラフト株式会社  
 株式会社ジェームス仙台  
 トヨタ部品宮城共販株式会社

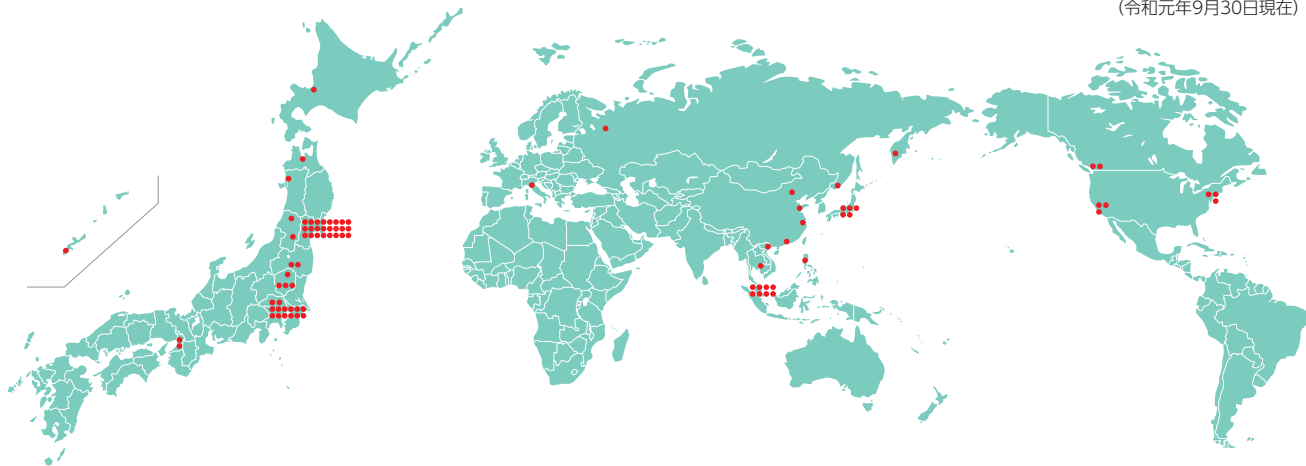
## 海外・貿易事業

カメイ・プロアクト株式会社  
 KCセントラル貿易株式会社  
 サンプラザ株式会社  
 三興メビビス株式会社  
 有限会社ナバホスポーツ

## 海外法人

Kamei North America Co., Ltd.	Imei (Exim) Pte. Ltd.
Mitsuwa Corporation	Lee Huat Yap Kee Pte. Ltd.
YNJ, LLC	LHYK Marine Pte. Ltd.
Central Boeki U.S.A., Ltd.	Translub Marine Pte. Ltd.
Central Boeki Calif., Ltd.	Lee Huat Yap Kee & Co. Pte. Ltd.
Katagiri & Co., Inc.	Santouka Kamei Singapore Pte. Ltd.
Santouka Kamei Canada Foods Ltd.	Qingdao Saint Sports Co., Ltd.
Kamei Singapore Pte. Ltd.	Sanko Mabis (Beijing) Corporation

(令和元年9月30日現在)



## トピックス

### 「Dr.Driveセルフ気仙沼南店」オープンのお知らせ

当社は、令和元年7月26日、宮城県気仙沼市内にガソリンスタンド「Dr.Driveセルフ気仙沼南店」（以下、気仙沼南店）をオープンいたしました。

#### 東日本大震災からの復興が進む気仙沼で、地域社会の発展に貢献

気仙沼では、当社が昭和6年に事務所を構えて以来、80年以上の長きにわたり事業をさせていただいております。東日本大震災により気仙沼バイパス店が閉鎖、気仙沼中央店が休業を余儀なくされました。平成24年7月に気仙沼中央店が営業を再開し、今回の気仙沼南店のオープンにより震災前の2店舗体制に復することができました。

これを機に、これまで以上に地域とのつながりを大切にし、お役に立てる商品・サービスの提供を通じて地域社会の発展に貢献してまいります。

#### 皆様のカーライフをトータルでサポート

当社が運営するガソリンスタンドでは給油はもちろん、洗車・タイヤ交換などの日常のメンテナンスから、ボディコーティング・車検・整備まで、皆様の快適で安心なカーライフをトータルでサポートしてまいります。

##### Dr.Driveセルフ 気仙沼南店

宮城県気仙沼市幸町4丁目5-9  
TEL 0226-24-2311

##### Dr.Drive 気仙沼中央店

宮城県気仙沼市港町497-2  
TEL 0226-21-2377



新たにオープンした気仙沼南店

## トピックス

### 「レクサス宮城野」・「レクサス山形」 リニューアルのお知らせ

当社のグループ企業であります仙台トヨペット株式会社（以下、仙台トヨペット）は「レクサス宮城野」を、山形トヨペット株式会社（以下、山形トヨペット）は「レクサス山形」を、それぞれリニューアルいたしました。

#### ■ レクサスの世界観を体感できるショールームへ

木のテクスチャが温かさや洗練された雰囲気醸し出す店内は、工芸ガラス壁や木製オーダー家具など匠の技術をふんだんに取り入れつつ、随所にレクサスの象徴である「スピンドルグリル」デザインを採用し、レクサスの世界観を表現しております。



#### ■ 進化し続けるレクサスブランドの魅力を皆様に

仙台トヨペットと山形トヨペットは、レクサスショールームのリニューアルを通して、進化し続けるレクサスブランドの魅力をより多くの皆様にお伝えしてまいります。



#### レクサス宮城野

仙台市宮城野区苦竹2丁目7-15  
TEL 022-283-1000

#### レクサス山形

山形市飯田2丁目7-43  
TEL 023-615-3300

#### 仙台トヨペット株式会社

所在地 仙台市宮城野区苦竹2丁目8-1  
TEL 022-232-1111  
URL <https://www.p-sendai.co.jp/>  
事業所 宮城県内20店舗



#### 山形トヨペット株式会社

所在地 山形市飯田西5丁目5-2  
TEL 023-641-1441  
URL <https://yamagata-toyopet.jp/>  
事業所 山形県内12店舗



# 当社の社会貢献活動

当社は、「地域社会に密着し、人々の生活に役立つ総合商社として活動発展することをめざす。」という創業以来の活動理念に基づき、地域社会の一員として社会と共有できる価値の創造を目指し、さまざまな社会貢献活動に取り組んでおります。

## ■文化・学問・教育への貢献

当社創業90周年を記念し設立された公益財団法人カメイ社会教育振興財団が、カメイ美術館の運営を通じて優れた芸術や文化を紹介し地域文化の向上に努めるとともに、学芸員や青少年の社会教育活動への助成などを行っております。

また、当社2代目社長亀井運蔵の遺志に基づき設立された公益財団法人亀井記念財団が、学生や外国人留学生に奨学金の支給・貸与を行っております。



カメイ美術館



カメイ親子ふれあい楽天イーグルス野球教室

## ■地域のスポーツ振興

東北楽天ゴールデンイーグルス、ベガルタ仙台、リガール仙台など、地域に密着したプロスポーツチームを支援しています。また、各種スポーツ教室や大会を通じて、スポーツの振興を図っております。



仙台うみの杜水族館

## ■仙台水族館開発株式会社への出資並びに経営参画 (仙台うみの杜水族館)

癒やしと学びの場を提供する水族館事業への参画を通じ、地域の皆様や子供たちに夢と感動を与え、地域社会の活性化に貢献しております。

## ■地球環境保全の推進（森づくり活動）

当社創業110周年記念事業の一環として、地球環境保全を推進するとともに、地域の皆様に親しまれる憩いの場の提供を目的に、宮城県黒川郡大和町七ツ森に「カメイの森 宮城」を開所しました。



カメイの森 宮城

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金支払株主確定日	毎年3月31日
中間配当金支払株主確定日	毎年9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1番地1 電話 0120-232-711 (通話料無料) (郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
単元株式数	100株
公告掲載紙	日本経済新聞

## 株式事務に関するご案内

### 1. 証券会社等の口座に記録された株式

株主様の住所変更、単元未満株式買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

### 2. 特別口座に記録された株式

特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。

### 3. 未受領の配当金のお支払いについて

未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。

